

「総合学習」部の取組について

報告 両尾小学校 河野 充

1 佐渡学の推進

佐渡市では、「佐渡市学校教育基本構想」を定め、その中で「佐渡学」を推進している。「佐渡学」は、「佐渡の自然、文化、歴史を学ぶことで、郷土を愛し、夢と誇りをもつ子どもの育成」を目指したものである。「佐渡の自然に学ぶ」では、トキの野生放鳥化にむけた取組や生物多様性の保全の取組などを学習している。「佐渡の歴史を学ぶ」では、佐渡金銀山の歴史やその頃の地域の姿を学習している。そして、「佐渡の文化を学ぶ」では、鬼太鼓や佐渡おけさなど、佐渡に伝承されている芸能や工芸などの学習を進めている。「佐渡学」の更なる推進にむけて、総合学習部では「地域素材の充実」や「外部講師活用の推進」などに取り組んでいる。佐渡市教育委員会の委託事業である「佐渡学授業研究会」に参加して見識を深めている。また「情報交換会」で「地域素材、地域人材」に関する情報を交換して、自校の総合学習の時間の充実に努めている。

2 佐渡学授業研究会への参加

平成22年度は、相川小学校で「佐渡金山」をテーマとした佐渡学授業研究会が開催された。総合学習部では、事前に研究授業の機会を設け、授業者と授業内容について協議した。研究会当日は、多くの部員が参加し、外部講師の活用などに関して意見を交わした。

今年度は、沢根小学校で「佐渡に学び、佐渡を愛し、佐渡に生きる」を研究主題として開催された。4年生の研究授業では、「沢根の海のよさをたくさんの人に伝えよう ～ 沢根の海元気プロジェクト～」を共通課題として、新聞作りの様子を公開した。授業中には子どもたちが意欲的に課題に取り組む姿が見られた。また、地域素材や外部講師の積極的な活用の点から、疑問点を外部講師に積極的に質問している子どもの姿があり、外部講師が有効に活用されている授業だった。協議会では、「外部講師の活用」「相互評価に利用するチェック表」「書くための5つの観点」などについて話し合い、考えを深めることができた。

3 総合学習情報交換会

佐渡市には30の小学校がある。それぞれの学校で「佐渡学」を自校化し、各教科、総合学習の時間の充実に図っている。情報交換会では、それらの活動や地域素材、外部講師などの情報を互いに交換した。佐渡では祭りと結びついた地域特有の芸能が多く伝承されており、地域素材の視野を広げるのに大変有効であった。また、各校で活躍している外部講師の情報を交換したことで、次年度の総合学習年間指導計画の改善と総合学習の時間の充実に図ることができると考えている。

4 今後の課題

佐渡では、中学校区内の小中連携が進んでいる。総合学習部でも、小中連携を模索する必要があるのではないかと考える。また、総合学習部でまとめた生の情報を広く発信することで、各校の教育活動が充実するのではないかと考えている。